

「トゥレット症候群に対する最近の治療・支援の展開」

医療講演会 2018「トゥレット症候群に対する治療・支援の展開」を下記の要領で開催いたします。協会会員をはじめ、トゥレット症候群の当事者やご家族、発達障害等にかかわる様々な支援者、職種の方々のご参加をお待ちしております。

今回は、トゥレット症候群に対する包括的な治療・支援の中の具体的な例として2つの方法を解説していただきます。これらの治療法は、トゥレット症候群の当事者の誰もが必要としているものでも、受ける必要があるものでもないでしょうが、トゥレット症候群の多様性や治療・支援について理解を深める上で参考になるのではないかと思います。

記

日時：2018年5月13日（日）午後2時～5時

場所：東京大学医学附属病院入院棟 A 15階大会議室

（〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1）最寄駅 本郷三丁目

参加費：NPO 法人日本トゥレット協会会員・会員家族 1,000円

会員以外 2,000円

※事前申し込み不要です、直接会場までいらしてください。定員 100名

<問い合わせ先>日本トゥレット協会事務局

電話 03-6912-9625（木曜日 10:00～15:00）✉info@tourette-japan.org



プログラム

司会：金生由紀子（東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野）

2:00～2:30 トウレット症候群の特徴及び治療・支援の概要

金生由紀子（東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野）

2:30～3:00 チックに対する包括的行動的介入（Comprehensive Behavioral Intervention for Tics: CBIT）について

松田なつみ（東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野）

3:00～3:30 脳深部刺激治療（Deep Brain Stimulation: DBS）について

木村唯子（国立精神神経医療研究センター脳外科）

3:30～4:00 質疑応答

4:00～5:00 懇親会

主催：NPO 法人日本トゥレット協会

後援：トゥレット研究会